

「第5回 阿武隈川上流流域治水協議会」「第9回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を開催

～ 上流遊水地群の整備、特定都市河川の検討状況など流域治水の取り組み状況や課題を共有すると共に流域内連携を促進～

1. 概要

気候変動による水災害リスクの増大に備え、流域のあらゆる関係者（国・県・市町村・企業・住民等）が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進するため、流域治水協議会を令和2年9月に設立、令和3年3月に「阿武隈川水系流域治水プロジェクト」を策定・公表。

第5回阿武隈川上流流域治水協議会では、**阿武隈急行株式会社及びJR東日本株式会社仙台支社**が阿武隈川上流流域治水協議会に参画。

議事では現在の阿武隈川における治水対策や各機関の流域治水の取組について情報の共有を図るとともに、**阿武隈川水系流域治水プロジェクトの「位置図・ブロック図」の更新や「流域治水の具体的な取組」の指標について、年度末の更新に向けた原案について説明。**阿武隈川流域内での**特定都市河川の指定に向けた検討状況についても説明。**また、意見交換では、**阿武隈川上流遊水地の整備について流域内の首長等からご意見を頂いた。**

近年の雨の局地化・集中化・激甚化を踏まえ、今後発生しうる大規模な浸水被害に備えるため、沿川市町村・県・国による「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」についても合同で開催し、**令和4年度の東北地方の出水概要や、予測に基づく氾濫危険情報の発表**を実施したことについて説明。

2. 日時／開催議事

- ▶ 日時：令和5年3月2日(木) 10:00-12:00
- ▶ 場所：福島河川国道事務所大会議室（WEB会議）
- ▶ 出席者：市町村長を含む33名が出席
- ▶ 情報提供・議事・報告事項
 - ・令和4年度 東北地方の出水概要（情報提供）
 - ・阿武隈川水系河川整備基本方針の変更について（情報提供）
 - ・東日本台風から3年目 阿武隈川流域における治水対策（議事）
 - ・各機関における流域治水の取組について（議事）
 - ・阿武隈川水系流域治水プロジェクトの更新内容（報告事項）
 - ・特定都市河川指定に向けた検討状況（報告事項）

3. 各機関の取組状況（新規取組抜粋）

- 【福島地方气象台】
 - 洪水に関する危険度情報の一体的発信（水害リスクライン+洪水キキクル）
- 【福島県】
 - 土砂災害総合システムの改良（住民や市町村の避難判断を支援）
 - 福島県流域治水シンポジウムの開催（流域治水の普及啓発）
 - 田んぼダムの取組推進（取組効果の理解促進・技術支援等）
- 【福島市】
 - 田んぼダムを活用した浸水対策（松川地区において実施）
 - 阿武隈川流域連携の取組（軽トラ市開催。矢吹町・鏡石町・玉川村を招待）
- 【郡山市】
 - 郡山市防災セミナーを開催（流域治水の普及・啓発）
- 【本宮市】
 - 浸水被害軽減を目的に、大型フリューム（貯留施設）及び排水ポンプを整備。

4. 会議開催状況



福島河川国道事務所【大会議室】



福島市【木幡 浩市長】



郡山市【品川 万里市長】



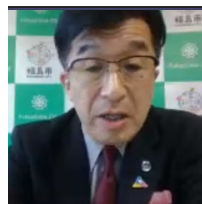
各委員出席状況

「第5回 阿武隈川上流流域治水協議会」「第9回 阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」を開催 ～ 上流遊水地群事業について、流域内の首長が課題と協力体制を共有～



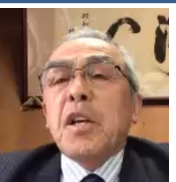
【鏡石町 木賊町長】

遊水地事業は、全体面積で約350ha、地権者は延べ約2,000名、住宅約150世帯が、優良な農地と住宅を移転しなくはいけない状況が現実には起きていることについて共通理解をし、事業を進める必要がある。流域自治体の皆様には、ご支援・ご協力を賜りたい。



【福島市 木幡市長】

今年度、みちのく号で阿武隈川流域や遊水地の計画地を視察。遊水地では、大変なご負担を頂く鏡石町・矢吹町・玉川村には、大変感謝を申し上げたい。福島市では、上下流連携を図るため軽トラ市に三町村を招待した。また、流域の市町村独自で、上流の三町村に応援できる取り組みを実施。今後も協議会で、遊水地整備状況や問題点について共有させて頂いて、できる限りの応援を行っていききたい。



【玉川村 石森村長】

遊水地事業は、国が土地を買い上げる全売方式であり、350haと広域な面積。村民は遊水地に水が溜まっているのが心配。国に遊水地の維持・管理に行ってもらいたいと考えているが、なかなかそうもいかないと思う。

木幡福島市長からも流域連携のお話があり非常にありがたい。この地域は、大規模な農業を営む農家もあり、村の固定資産税に大きく影響がある。流域市町村の支援応援や利活用について、今後も参考事例も頂戴しながら遊水地整備については進んでいきたい。



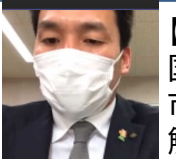
【本宮市 高松市長】

阿武隈川・安達太良川・五百川について早急な整備を実施して頂き大変感謝致します。阿武隈川堤防嵩上げ箇所については、かわまちづくりを使用したまちづくりを進めていきたい。



【郡山市 品川市長】

流域治水を推進する会を開催して頂き感謝。遊水地整備は心強い事業。郡山市も他の機関の取り組みを勉強させていただき、取り組みを進めたい。



【矢吹町 小松副町長】

国事業である遊水地の整備計画が進捗。福島市の軽トラ市に出店させて頂き、地域住民の方々に流域治水の理解を深める取組について感謝致します。

遊水地の実現により、長年被害のあった地域の解消や下流沿川自治体への減災効果が見込まれる。国、県、市町村と連携しながら、遊水地の整備と流域治水の実現に向けご協力と御支援をお願いしたい。



【丸山福島河川国道事務所長】

遊水地事業では地元自治体や住民の方々に大変ご協力頂き感謝致します。また、住民の方々の疑問点をお聞きしながら、解消することに努めたい。遊水地利活用の検討会を立上げる予定。利活用の事例等を準備している状況。今後、地域の皆様のご意見を聞きながら、この地域の振興に繋がる利活用を考えております。今後ともご協力を頂きたい。

○上流遊水地平面図



○軽トラ市開催状況



○沿川首長によるみちのく号からの視察

